

そう！HIVは検査を受けないと感染しているか分かりません！！

HIVはだれもが感染する可能性があります。

感染しても自覚症状がないため、本人は感染していることに気づきません。

では、どうやってHIVに感染しているか判断するの？

それは.....「検査を受けること」です！！



HIVに感染している人と、感染していない人を見分ける事はできないのです
だから・・・正しい知識！予防！！検査！！が大切なのです。

【検査を受ける】

あなたが検査を受けることで早期に感染を発見できれば...

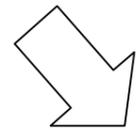
体を守ることができます！！

早く治療を開始でき AIDS 発症を遅らせることができる

大切な人を守ることができます！！

二次感染や再感染を予防できる

たとえ...陰性でも、AIDSについて考えるきっかけになります！！



HIV 検査の場所はこちらで調べられます！

HIV検査相談マップ <http://www.hivkensa.com/>



12月1日☆世界エイズデー☆横浜市内ではイベント満載！！

《世界エイズデー関連イベント「臨時夜間検査」》

検査日 平成22年12月3日(金) 平成23年1月14日(金) 17時00分～20時00分
(予約不要/結果は1週間後 HIV・クラミジア・梅毒・B型肝炎)

会場 横浜 AIDS 市民活動センター

問合せ先 横浜市健康福祉局健康安全課 045-671-2729

《HIV 検査》

検査日 平成22年12月1日(水) 9時00分～11時00分
(要予約・結果は1週間後)

会場 横浜市旭区役所本館3階

問合せ先 旭福祉保健センター 福祉保健課健康づくり係 045-954-6146

《大切な人を守るため私にひとつできること》

エイズの予防、治療、無料で受けられるエイズ検査等に関するパネル展示 など
中区役所職員は、12月にレッドリボンを着用します。

日程 平成22年11月30日(火)～12月3日(金) 8時45分～17時15分

会場 横浜市中区役所1階 パピポ広場

問合せ先 中福祉保健センター 福祉保健課健康づくり係 045-224-8332

《続けよう、あなたの関心、みんなの安心、エイズ予防》

ポスター展示 ツリー型ポスターへのメッセージ装飾 等

日程 平成22年12月1日(水)～10日(金)

会場 横浜市港北区役所

問合せ先 港北福祉保健センター 福祉保健課健康づくり係 045-540-2362

他の区役所でもパネル展示をしています。他の区役所情報や、横浜市以外のイベント情報は、
エイズ予防情報ネットでチェック！ <http://api-net.jfap.or.jp/event>

おーぷん

URL <http://www.yaic.gr.jp/>

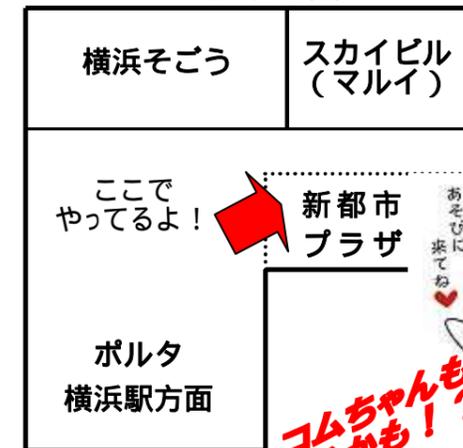
発行: 横浜AIDS市民活動センター
〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地
尾上町ビル9F
TEL: 045-650-5421 / FAX: 045-650-5422
E-mail: info@yaaic.gr.jp
平日: 13:00～20:00 / 土・日・祝: 10:00～17:00
(火曜日 夜間検査のため休館)
監修: 横浜市健康福祉局

世界エイズデーイベントに行こう！

今年も、横浜AIDS市民活動センターでは、
世界エイズデーイベントを行います！

世界エイズデー in Yokohama 2010

会場地図



開催日: 2010年11月28日(日)
当日横浜AIDS市民活動センターは臨時休館になります。御用のある方はイベント会場までお越しください。

開催時間: 11:00～17:00

場所: 新都市プラザ(横浜そごう前)
主催: 横浜AIDS市民活動センター
協力: AIDSネットワーク横浜
アジアの女性と子供ネットワーク
神奈川県臨床衛生検査技師会STD撲滅委員会 横浜YMCA 神奈川県保健福祉局 他

イベントでは、HIVの基礎知識が学べるパネル展示や、
無料で参加できるレッドリボンづくりコーナーや
プラ板づくりコーナーもあります。その他には、
パンフレットの無料配布などを行いますので、
ぜひ遊びに来てくださいね

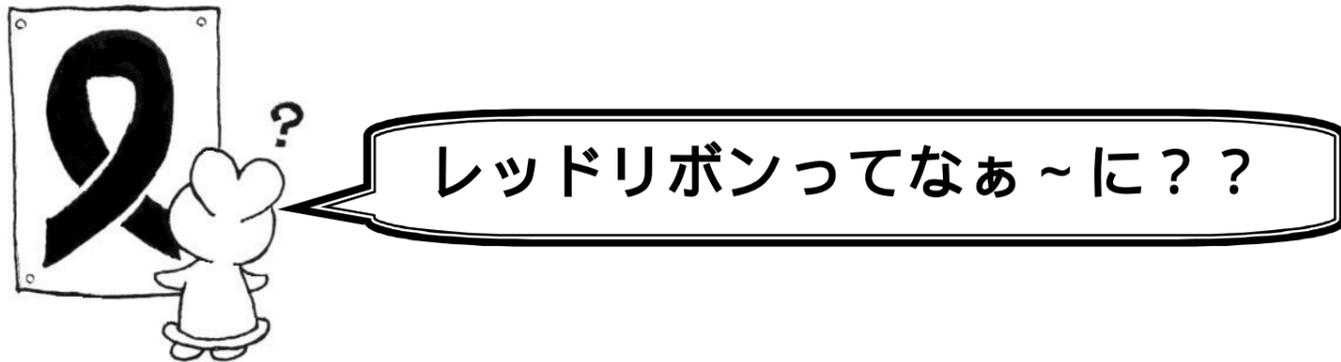
世界エイズデーとは...

1988年にWHO(世界保健機構)が世界レベルでのエイズまん延防止と、エイズ患者・HIV感染者に対する差別偏見をなくすことを目標として、12月1日を“World AIDS Day”(世界エイズデー)と決めました。1996年からは国連のUNAIDS(国連合同エイズ計画)がこれを継承し、エイズに対する予防啓発を推進しています。日本では、毎年12月1日前後に、様々なHIVの予防啓発のイベントが開催されます。



知っていますか？ HIV・エイズのこと

12月1日は世界エイズデーということで、HIV・エイズのことを特集しちゃいます！

レッドリボンは、エイズに対する理解と支援のシンボルであり、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しない、というメッセージを表しています。

レッドリボンが使われ始めたのは、アメリカでエイズが社会的な問題となってきた1980年代の終わり頃でした。このころ、演劇などで活躍するニューヨークのアーティストたちにもエイズが広がり、エイズで亡くなっていくアーティストたちが増えました。そうした仲間たちに対する追悼の気持ちとエイズに対する理解と支援の意思を示すために、レッドリボンをシンボルにした運動が始まりました。

この運動は、その考えに共感した人々によって国境を越えた世界的な運動として発展し、国連共同エイズ計画(UNAIDS)のシンボルマークにも採用されています。



ほかにも、いろんなリボンがあること知っていますか??

- ピンクリボン：乳がん
- オレンジリボン：児童虐待防止
- ティールアンドホワイトリボン：子宮頸がん
- ホワイトリボン：社会運動

リボンは色によって意味は違いますが、**理解と支援のシンボル**として使われているのです。

ステッカーやマグネットなどもあり、一度は見たことがある人もいるのでは・・・。
リボンの色の意味を理解し、リボンを身につける事、これも活動参加の第一歩ですよ。

“HIV”って？ “AIDS”って?? なあに？

“HIV”とは・・・??

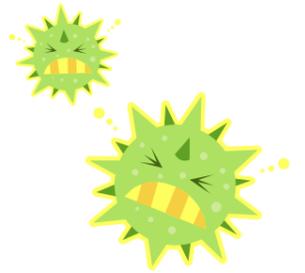
Human
Immunodeficiency
Virus

の略で、日本語では**ヒト免疫不全ウイルス**といい、このウイルスが体の中に入って増殖することを“HIV感染症”といいます。

“AIDS”とは・・・??

Acquired
Immuno
Deficiency
Syndrome

の略で、日本語では**後天性免疫不全症候群**といい、HIV感染により、免疫力が下がることがかかる様々な病気の総称です。



 エイズはHIVに感染することによっておこる。しかし、HIVに感染してもすぐエイズを発症するわけではない！

じゃあ・・・HIV感染ってなんでおこるの？

HIVは、**血液、精液、膣分泌液、母乳**の中にいます。それらが、粘膜や傷口から他の人の体内に入ると感染する可能性があります。粘膜とは...目・口の中・尿道・直腸(肛門)・膣などの部分をいいます。



HIV感染する危険性がある行為

- 性的接触による感染**
1番多い感染経路！
性器などの粘膜に接触して感染します。
- 母子感染**
母親が感染していると、妊娠・出産・授乳を通じて赤ちゃんに感染する可能性があります。(医療処置によって感染確率を下げることができます。)
- 血液感染**
感染者の血液に触れた注射器具の共有をすると、感染者の血液が体内に入り感染する可能性があります。



HIV感染を予防するには？

予防の方法は、**HIVを体内に入れない**ことです。そのためには・・・

 **服薬、帝王切開、人工栄養(粉ミルク)等の予防措置を行う。**

性的接触をしない

もし...性的接触をする場合、コンドームを正しく使う！！

*コンドームの正しい使い方はコチラ
<http://www.yaic.jp/category/condom>

HIVは検査を受けないと感染しているか分からない! ? ...次のページへ